

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. C-60

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名： 佐伯市立鶴谷中学校
活動名： 学校を核にふるさと創生～CSと総合の取組をととして～	
解決すべき課題： 地元佐伯市では、公立学校統一で、地域の活性化を目指した、「ふるさと創生」の取組をすすめている。そこで示された佐伯市を取り巻く視点を取り入れながら、学校独自の課題を加えて、以下の課題を地域、保護者と共有した。 1 人口減による地域の停滞感(現役世代の流出、減少・地域行事担い手不足・地域の教育力低下など) 2 学校だけでは解決が難しい学校に関わる課題(休日、登下校時の見守り・校内の整備作業など) 3 職員の転任に伴うそれら活動の断絶	
目標・方針： 本校の学校教育目標は、「ふるさと佐伯に学び、未来予想図を描いて、『鶴谷のチカラ』を発揮する生徒の育成」である。「未来予想図を描く」生徒育成が、ふるさと創生と生徒の進路実現につながると考えている。コミュニティ・スクール(以下CS)を学校主導から委員主導に無理なく移行していくように、家庭、地域の当事者意識高揚を丁寧にはかっていく。また、総合的な学習の時間については、カリキュラムマネジメントの手法を生かすすすめていく。それらの相乗効果により学校を核とした学校と地域の交流と活性化を目指す。 1 総合的な学習の時間の学習は、目指す資質、能力と評価の基準を明確にし、探究のプロセスをとりながら地域の題材を扱う。 2 地域と保護者が入りやすい状況をつくるため、CSの認知度を上げる。 3 運営委員会を中心に、課題を丁寧に共有しながら、学校主導ではない取組の深化を図る。 4 職員の多忙な状況を鑑み、職員の負担にならないようにすすめていく。	
活動内容： 1 総合的な学習の時間において、地域の現状・課題・課題克服のためのアイデアを探究し、発表したり、提言としてまとめたりした。(写真1) 2 総合的な学習の時間において、地域人材を活用した。 ① 地域の専門家をゲストティーチャーとして招いた。(写真2) ② CSの委員を介して地域住人にアンケートを実施し、地域の実態把握に役立てた。(写真3) 3 年4回の学校運営協議会において、地域、学校の課題について毎回ワークショップ形式の熟議を重ねた。(写真4)(写真5) 4 「地域協育コーディネーター」を窓口として、地域行事に参加する中学生ボランティアに関わる責任(呼びかけ、集約と当日の運営)を教員から地域に委譲した。(写真6)(写真7)(写真8) 5 学期毎の育友会(PTA)や地域の会合など、機会あるごとにCSとその活動の様子を保護者や地域に知らせた。(写真9)	
活動の成果： CS委員に総合的な学習の時間の授業を見てもらう機会を持った。とても好評で、委員から「こういう姿をCSで支えていきたい」との声をいただいた。生徒の姿でかえすことによる相乗効果はあったと考えている。 1 学校評価において、以下の質問に対する評価が高くなった。(グラフ1) ① 佐伯への関心が高まりましたか。(前回よりも肯定的回答が+5ポイント) ② CSの取組を知っていますか。(前回よりも肯定的回答が+11ポイント) 2 今年度の地域行事などへのボランティア参加生徒はのべ115人。地域から学校の整備作業などボランティア参加者はのべ人。いずれも参加後の感想は肯定的なものがほとんどであった。 3 地域ボランティアに関わる職員の業務が大幅に少なくなった。職員が変わっても続く仕組みが確立された。 4 学校運営協議会において、ワークショップ形式の熟議が定着し、委員から積極的にアイデアが出ている。生徒、地域、保護者が協働で行う「あいさつ運動」や地域組織を利用した校内作業の地域への参加呼びかけなど、そうした中から実現した取組も多い。 ※ CSについては、校内での作業運営や、運営協議会そのものの運営など、学校から委員に責任を委譲していく余地がまだまだある。	
アピールポイント(アイデアや工夫)： 地域、保護者に主体的に参画していくために、運営協議会で何度も熟議を重ね、丁寧に土壌づくりを行った。どの地域行事の運営からも「中学生なしでは行事ができなくなった」と言われるほど地域との関わりが濃くなった。CSの熟議と実践を繰り返す中で、3者に「自分ごと」の意識がはぐくまれつつある。	

写真1：総合的な学習話し合い



写真2：総合的な学習ゲストティーチャー



写真3：総合的な学習地域アンケートのまとめ

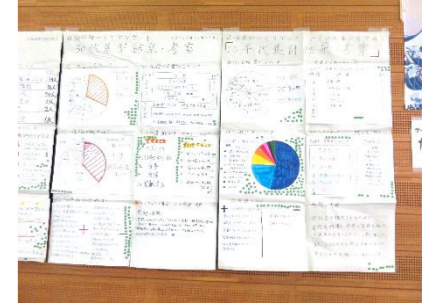


写真4：学校運営協議会熱心な熟議



写真5：学校運営協議会中学生も交えて熟議



写真6：地域行事中学生ボランティア



写真7：地域行事地域の運営から説明



写真8：校内整備地域の有志と作業(花のC0-づくり)



写真9：育友会(PTA)CSの説明



グラフ1：1学期末学校評価アンケート結果

